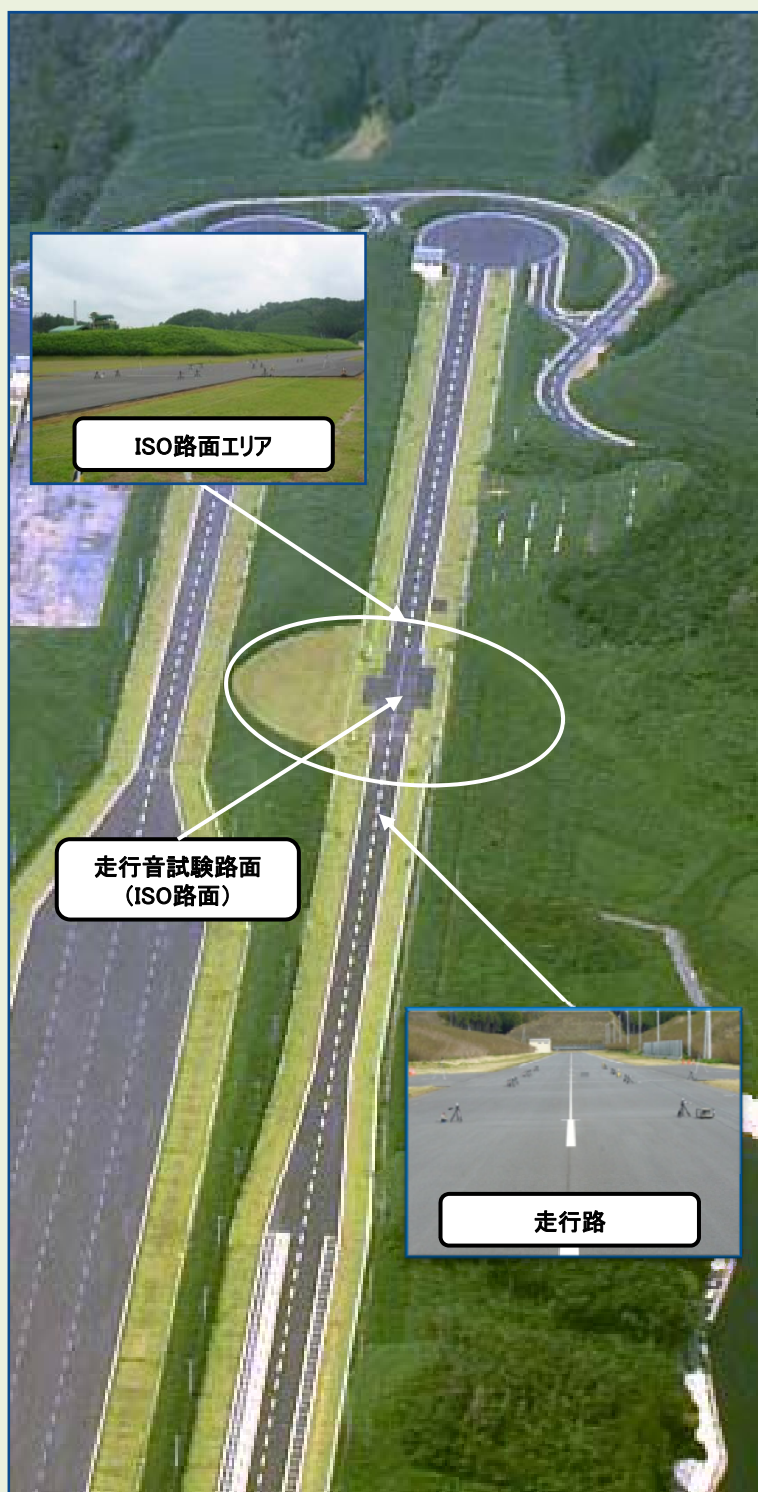


車外騒音試験

(城里テストセンター内)

- 試験法開発で培った、信頼性の高い各種車両の騒音評価試験
- 後付消音器・非認証車の公的試験機関としての騒音試験
- 城里テストセンターの走行音試験路面(加速区間約1,000m, 減速区間約300m)では高速走行時の騒音評価試験が可能

Vehicle Pass-by Noise Test



通過騒音試験



近接排気騒音試験

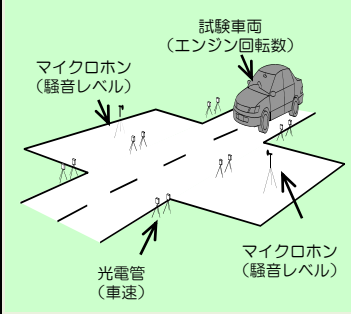


- ・騒音レベルの時間変化
- ・周波数特性

車外騒音計測システム

城里テストセンター 多用途試験路
全長: 1,500m

対応可能な試験事例

試験区分	試験対象	適用試験法例	走行音試験路面	計測項目
騒音評価試験	<ul style="list-style-type: none"> ・二輪車 ・小型車 (車両総重量3.5t以下) ・大型車 (車両総重量3.5t超) 	国内試験法 (TRIAS* ¹) <ul style="list-style-type: none"> ・近接排気騒音試験 ・定常走行騒音試験 ・加速走行騒音試験 ・警音器試験 UN/ECE* ² <ul style="list-style-type: none"> ・ECE R51-02 ・ECE R41-04 ・ECE R117 ISO規格 <ul style="list-style-type: none"> ・ISO 362-1(2007), -2(2009) ・ISO 13325(2003) ・ISO 5130(2007) 	<城里テストセンター> 多用途試験路内 走行音試験路面 (茨城県東茨城郡城里町)	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音レベル ・車速 ・エンジン回転数 ・その他*⁴ 
公的試験機関としての騒音試験 ・後付消音器 ・非認証車	<ul style="list-style-type: none"> ・二輪車 ・小型車 (車両総重量3.5t以下) 	TRIASに準ずる <ul style="list-style-type: none"> ・近接排気騒音試験 ・加速走行騒音試験 		

- * 1: 新型自動車審査関係基準 * 2: 欧州経済委員会
- * 3: 試験対象は、大型車(車両総重量3.5t超)を除きます。
- * 4: その他の測定項目についてもご相談に応じます。

JARI走行音試験路面 (ISO路面) の諸元

		旧規格 (ISO 10844-1994, JIS D 8301-1993)	新規格 (ISO 10844-2014, JIS D 8301-2013)	<城里テストセンター* ¹ > 多用途試験路内 走行音試験路面
施行日		—	—	2014/11/19
施工業者		—	—	NIPPO Corporation
路面の 要求特性	空隙率	8%以下	—	6.8%
	吸音率	10%以下(コアによる測定)	走行部:8%以下 伝搬部:10%以下 (現場吸音率による測定)	コアによる測定:7.0% 現場吸音率による測定 走行部:6.8% 伝搬部:5.8%
	路面粗さ	TD値=0.4 mm 以上	MPD値=0.5mm±0.2mm	TD値:0.57mm(施工時) MPD値:0.36mm(施工時)
	凹凸量 (走行部)	—	縦断方向:2mm以下 横断方向:3mm以下	縦断方向:0mm 横断方向:1mm
設計 要求事項	舗装種類	密粒度アスファルトコンクリート	←	←
	骨材の 最大粒径	8 mm (許容範囲:6.3~10 mm)	←	←
	舗装厚さ	30 mm 以上	←	40 mm
	バインダ	ストレートアスファルト	ストレートアスファルトと改質アスファルトも可	ストレートアスファルト

- * 1: ISO 10844-1994, JIS D 8301-1993およびISO 10844-2014, JIS D 8301-2013に適合
- * 2: ISO 10844-1994, JIS D 8301-1993に適合

〒305-0822 茨城県つくば市苧間2530

Tel: 029-856-1120 / Fax: 029-856-1124

E-mail: kenkyu@jari.or.jp